

平成30年度 事業実施計画書（モデル的事業）

団体名：空町まちづくり協議会

1. モデル的事業名	まちづくり協議会運営活性化事業
2. 事業名	空町まち協運営活性化事業
3. 目的	<p>人口減少や高齢化によって町内会の維持や役員の選出が難しい。また、まち協役員は1年交代のため新役員は予備知識や情報が無い中、年度当初に新年度の事業計画等を立案しなければならない。そのため、前年度事業を踏襲する事が通例となり、新規事業の提案、既存事業の改善、組織改革等を行うことは非常に困難となっている。</p> <p>本事業では、事務局内に「企画・支援チーム（仮称）」を設置し、役員の専従化、組織体制や事業の見直しを図る。</p>
4. 事業内容	<p>事務局内に公募による「企画・支援チーム（仮称）」を設置し、各事業及び各会議への出席、チーム内での検討会を踏まえ各委員会やまち協本部に対し新規事業の提案や事業企画の支援、課題の提起、既存事業の改革などを提起することを目指す。</p> <p>○企画・支援チーム（仮称）          人員：4名（予定）          ※チームリーダー1名、スタッフ2名、事務局1名          内容：チームの目的・意義・方向性などを確認、共有したうえで次年度のチームとしてのタイムスケジュールを作成すると共に各行事や会議へ出席し、問題点や改善点を洗い出し、意見交換会を開催した上で、次年度からの各委員会の運営に反映してゆく。          発足：地域内外から公募により人員を募集し、平成31年1月末までにチーム発足予定。</p>
5. 効果見込	<p>本チームからの様々な提言や支援によって各会議での活発な議論を促し、新規事業の立ち上げや既存事業の改善、組織改革や組織の活性化等が期待できる。</p>

平成 30 年度 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
10 月～1 月	企画・支援チームの発足にむけて	①スタッフの募集 空町地域内の方を対象にした募集 ・まち協だよりに掲載 ・専用チラシを全戸配布 ・役員などによる推薦 ・まちスポ飛騨高山の協力を通じて人材を募集 ・さるぼぼ、市民時報などの媒体を通じて募集 ・コミュニティ診断士との交渉	
2 月～3 月	平成 31 年度に向けての検証・調査等	①チーム編成の目的・意義周知 ②事業、会議等への出席 ③意見交換会の開催 ④タイムスケジュールの作成	

平成30年度 空町まちづくり協議会 収支予算書 (モデル的事業)  
空町まち協運営活性化事業

【収 入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	170,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
合 計	170,000	

【支 出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
運営費	162,000	162,000	
需用費	46,000	46,000	広告料
	40,000	40,000	チラシ作成費 2,000 枚
人件費	76,000	76,000	スタッフ謝金
合 計	162,000	162,000	